

(10月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年 入荷量(t)	前年 占有率 (%)	
だいこん		14,596	95	13,284	52	183	71	171	1.2	北海道、青森中心の入荷で全体の約6割を占める。本年は北海道産は切れ上がり及早まり、青森産も少なめで出回りは少ない。入荷は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
にんじん		8,410	97	8,164	117	111	113	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。10月に入ると北海道産が回復して価格も一時の高騰はおさまる見込み。入荷は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
はくさい		13,101	95	13,305	44	159	57	-	-	長野、茨城産中心の入荷で全体の8割を占める。本年は高原産地が早く切れ上がり、茨城産は遅れ気味。入荷は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
キャベツ類		17,355	90	15,434	57	140	67	-	-	群馬、青森産中心の入荷で全体の約6割を占める。群馬産は肥大は回復して8玉中心。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
ほうれんそう		1,597	95	1,777	478	115	468	-	-	群馬、岩手産が市況をリードする。高原や東北の産地は9月下旬から10月初めにはかなり回復してくる。平地の産地の回復は遅れるため、価格は10月前半まで高め。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
ねぎ		5,545	95	5,757	255	110	250	412	7.4	青森を中心とする東北産が市況をリードする。東北産の作柄は悪い。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
レタス類		9,670	90	8,779	75	213	126	-	-	茨城産中心の入荷で全体の約6割を占める。本年は高原産地は切れ上がり及早く、茨城産はやや遅れ気味。全体の入荷量は前年を下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。
きゅうり		6,349	95	6,329	216	134	250	63	1.0	埼玉を中心とする関東産の抑制ものが市況をリードする。本年は高温の中での作業が続く、抑制物は遅れている。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。

(10月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年 入荷量(t)	前年 占有率 (%)	
なす		3,015	95	3,284	252	115	265	-	-	高知、栃木産中心の入荷で全体の約5割を占める。比較的夏場の高温の影響は少なめ。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
トマト		7,681	90	6,665	266	143	348	72	0.9	千葉、茨城を中心とする関東産の抑制ものが市況をリードする。本年は東北や高原の夏秋は早めに切れ上がる。関東以西の抑制物は全般に遅れる予想。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
ピーマン		2,151	99	2,118	220	136	261	-	-	茨城、岩手産中心で全体の約7割を占める。本年は東北産は多め、茨城産も回復する。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を上回る見込み。
ばれいしょ		7,620	95	7,642	121	115	102	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産は小玉傾向で、空洞などのロス也多め。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
たまねぎ		9,959	95	10,887	100	105	84	-	-	北海道中心の入荷で全体の約9割を占める。今後出荷される中晩生種は小玉傾向で不作だった前年を更に下回る入荷が予想される。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。